

お詫び

当院で発生しました医療事故についてご報告いたします。

平成 31 年 1 月 22 日に 90 代女性に患者誤認による血液型不適合輸血を行い、患者様に嘔吐などの症状が生じたものです。

今後、適時、状況を更新し報告を行ってまいります。

平成 31 年 1 月 25 日

峡南医療センター 富士川病院

病院長 渡邊 義孝

1. 経過

同室の血液型 A 型の患者様 (X) に 1 月 22 日朝に赤血球濃厚液 (Ir-RBC-LR) 2 単位のオーダーが出ました。クロスマッチ試験のため X 様から採血を行い、検査部にクロスマッチ検体を提出、適合試験問題なく Ir-RBC - LR2 単位準備し伝票と検査技師、看護師によるダブルチェックを行い正午ごろ病棟へ払い出しし、その後、医師と看護師による Ir-RBC-LR と伝票のダブルチェックを行い、末梢点滴ルートに接続するためのチューブを Ir-RBC-LR に接続し、患者さんのルートにつなぐ準備を完了しました。その後、患者さんの所に行き接続を行う際に同室者の血液型 O 型の患者様 (Y) に接続し、12cc 程度異型輸血を行ってしまったものです。投与直前の本人確認でダブルチェックを行う際に 2 人が十分な本人確認を行わず投与が行われてしまいました。投与後の観察で Y 様の気分不快、嘔吐で異変に気付き、患者違いであることを認識しました。

発覚後、Ir-RBC-LR を投与中止し主治医への報告と血液型不適合輸血への対応を山梨大学医学部附属病院と山梨赤十字血液センターのサポートと助言を受け、治療を行い Y 様の容体は当日から快方に向っております。

2. 対応

本件は大事には至らなかったものの重大事象であり患者様に謝罪するとともに病院をあげて原因究明、再発防止が必要と考えています。事故発生当日、当事者のヒアリング、輸血に関連した部署ごとでの話し合いを行い、翌 23 日緊急の医療安全委員会を開催しました。

さらに、重大事象であり第三者のチェックを受けるべきと考え、医療安全で提携している国立病院機構甲府病院の安全管理委員会の立ち入りの依頼を行うことと決定しました。

3. 要因

今回の件について担当者が Y 様を X 様と思い込んで輸血準備を行って投与直前の本人確認をネームバンド、血液型、本人確認を適切に行わず、また同時にダブルチェックに入った担当者が同じくネームバンド、血液型、本人確認を怠っておりました。

こうした事象が起きた要因としては、以下のとおり考えられました。

- ・輸血の運用が伝票で行われており、電子カルテを用いた患者認証システムを用いていない。

- ・払い出した輸血は伝票と共に運ばれ伝票にしか患者氏名が記入していない。
- ・輸血を指示した医師が伝票に輸血日時、単位数を記入しているのみで、電子カルテ上の指示簿に指示を入れていない。
- ・有害事象とならないレベルで薬の患者誤認投与もいままで存在し、そもそもの患者確認手順が不備である。
- ・業務が多く時間に追われていたためマニュアル順守がなおざりにされている傾向があるのではないかと。

4．再発防止策

これらの要因を踏まえて、次のとおり改善点の検討を行いました。

- ・電子カルテを用いた認証システムは安全性を高めることにつながると考えられるが、システムがあっても誤認投与ミスを起こした事例は2016年1月の医療安全情報 No.110 からすると2007年7月から8年5か月の間に本邦で13件ありシステムを導入してもマニュアルの順守が行われなかったたり、エラーはシステムの故障と考えたりしてミスは起きている。安全のハードルを上げていくことでミスを防げる可能性はあるが、それだけでは不十分である。
- ・払い出した輸血バックに患者氏名、情報を貼り付けわかりやすくする。
- ・輸血の指示は必ず医師が指示簿にも記載を行う。
- ・患者本人確認のマニュアルを順守する。
- ・看護業務負担が多くなり業務を請け負えない場合にスムーズに委託できる環境、システムにしていく。

さらに、具体的な再発防止策としては、即時に以下のとおり行うことと致しました。

- ・患者本人確認のマニュアルの順守は速やかに通達し意識の向上を行い。また時間が経過すると怠ることともあり得ると考え、平時から時折職員への啓蒙を行う。
- ・看護業務負担が多くなり業務を請け負えない場合にスムーズに委託できる職場環境への心がけ、職員同士での声掛けを行っていく。
- ・輸血の指示は必ず医師が指示簿にも記載を行う。

また、以下のとおり至急準備にかかることと致しました。

- ・払い出した輸血バックに患者氏名、情報を貼り付けるシールの選定と準備を行うこと。
- ・電子カルテを用いた認証システムを導入していく。

5．窓口

この件に対しましてのご質問は、事務部長の志村までお問い合わせください。

(代表0556-22-3135)